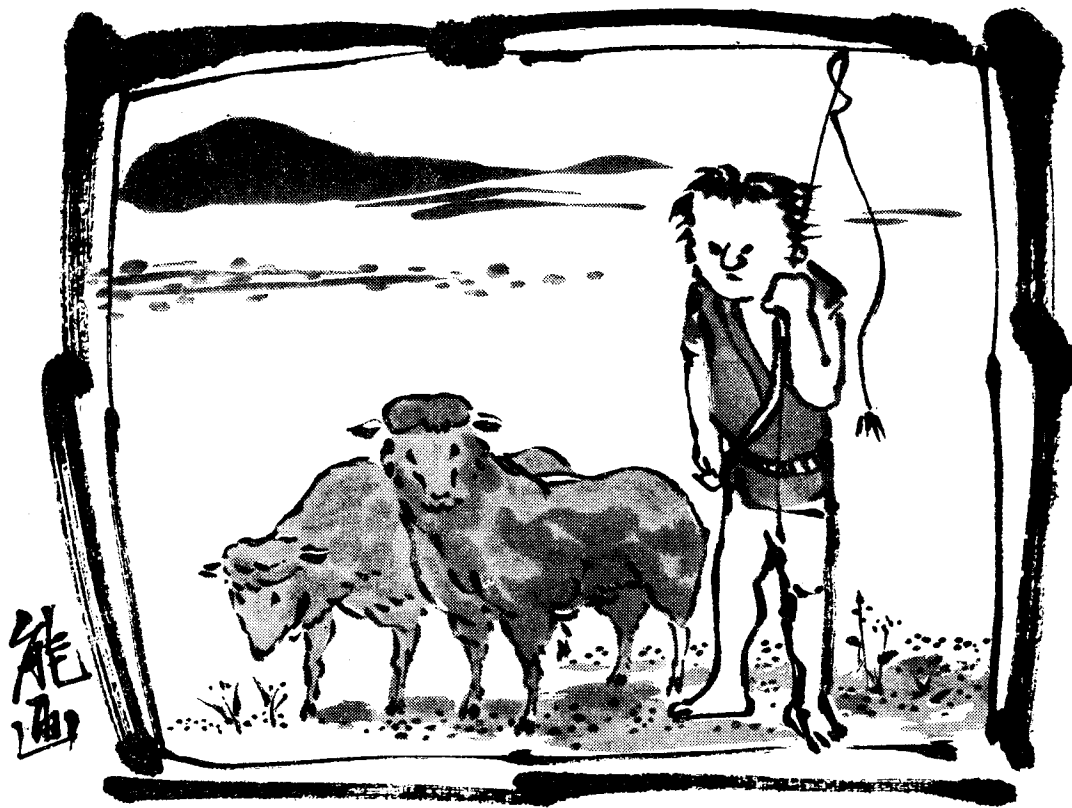




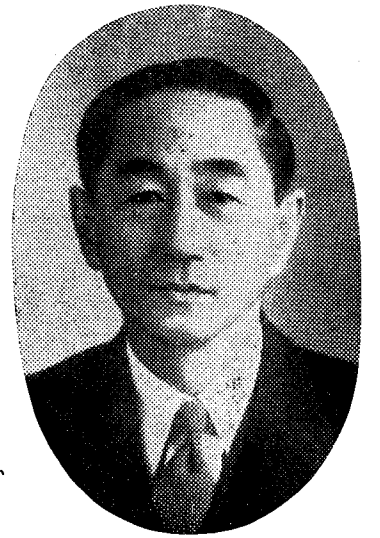
発行所
鹿兒島市秘書課
編集人 山下 速夫
印刷所
南日本新聞社印刷局

市民年始会
1月1日
(午前11時)
中央公民館ホール

春 賀



牧羊団



年頭のことば

皆さんと共に一九五五年の
新春を迎えようではありませんか。
心からゆ慶び申しあげます。

このめでたい正月を迎えるという気持は
いさゝか歳をとっていても、やはり嬉し
いものです。

元日になると一夜にして森羅万象す
べてが一変し、あらゆる物がいきくとた
新鮮な感じを与えていくかのまじりに
見えます。そして私達も今年こそ
しっかりとやろう、本年にやるぞという
強い決意が自

皆さんと共に

然にみなぎって
まいります。これ

鹿兒島市を

は誰しも固

こことと思いが、この際刺しとた気
持と決意があつてこそ本當な正月を
迎えたといふことなるのではなから
うか。できればこの気持を一年中
持ち続けてゆきたいと私は思つてお
ります。市政も又月日と考に進んで
おります。よりよい都市をつくらな
る市民の皆さんと共に大いに頑張
って、住みよき鹿兒島市になるよ
う、心から祈ります。

昭和三十年元旦

鹿兒島市長 藤目清

われらの郷土

わたくしたちは
郷土を愛します

私たちは郷土に育ち、郷土に生活している。
私たちは郷土にかきりない愛がある。
私たちは郷土が少しでも発展し、少しでも住みよくなることを
望みます。
私たちが郷土をよく知ることは、より郷土を愛するようになる
ります。
そのよき郷土とは一体どんなところなのだろうか。
つきに郷土の正月行事について紹介いたします。

正月行事のいろいろ

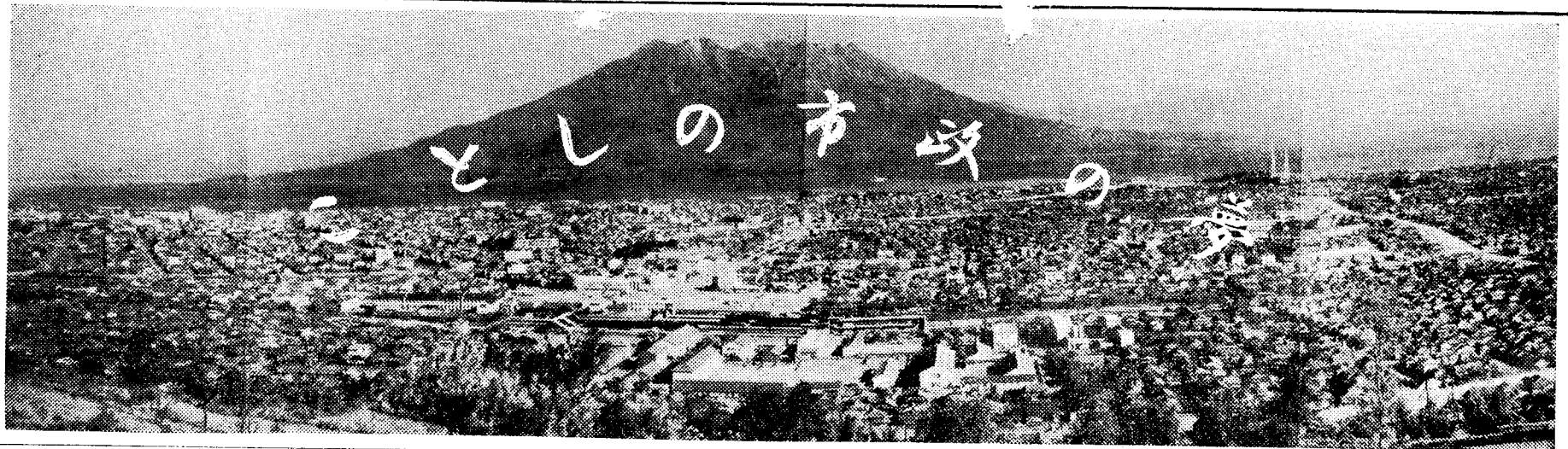
大晦日の晩は……..
いすれかといえは元旦以上に大
切にする日で、この晩は、年越し
そば、はもちろ、年重ね餅とい
うて餅のうえに小豆をつけて暗
にだし、一家そろつて「年とり申
す」と唱えて、これを拝戴する風
習があります。これによつて郷土
の人々が年をむかへることを重視
して、

まわってくるものです。女世に
なほ塩の扱ひをするか、そのわけ
は、南方楠先生來談、をみますと
「年始三福十分三野へオハラ年
取場ト申シ、マシメテ家ノ必要
条件ト致候。年始二福不足スル
ヨウデハ家勢傾キタル表示ト屬
視致候云々」
とあるように塩は昔から大事にあ
つたわけのようです。
四日は初詣……..
五日、六日をすぎれば晴松を取



しているかよくうかがわれます
この餅に小豆をつけるのは縁起を
祝うと共に悪魔はりの意味だぞ
うです。
元日は……..
とくに他国とかつたこととはあ
りませんが、たまたまツツツツハロ
ンといつて八頭手(へつがし)手
の多き煮豆やしをつけていた
たのが郷土独特のものだぞ。
二日の若狭祝い……..
これは今では殆んど行われてお
りませんが、この若狭祝いといふ
のはかねて出入りする女の物売人
たちが左手に塩カゴ、右手に塩を
盛った盆をもつて、朝早く各戸を

り除いて、この代りにモミとタラ
の木(一名ハイノ木ともいふ)を
たてます。七日は、すももおぼ
七草祝い、十四日は、おぼとモミと
タラの木をとり除いて削りかかと
猫柳をさしてごちものです。
この削りかかは……..
関ヶ原戦のとき味方の目標とし
て用いられたことに始まり、この関
ヶ原戦の記念のため使用されたも
のだと、伊地知知義の「薩摩の年
中行事」に記されております。
また猫柳は一名イノコシヨツ
シヨイともいふれ使用後は清潔な
場所、よく洗ったのあたりにし
まつておき、雷鳴のときこれをた
けは難をまぬがわれられておます



西日本で始めての

分流式下水道

ことしから使用

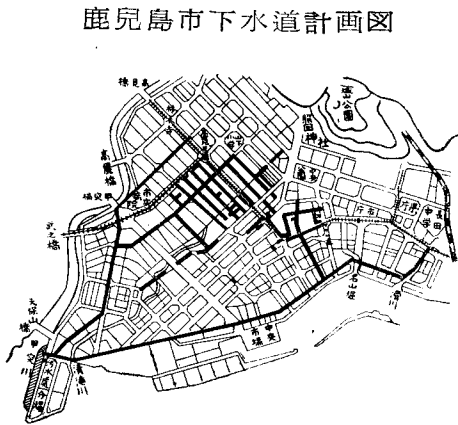
鹿兒島市の下水道施設は昭和二六年度から調査をはじめ昭和二七年度に国の許可をえられたので同年九月から着手いたしました。これは大阪以西にはない施設でこの完成には大きな期待がもたれていますが、河野水道局長はことしの水道事業について次のように語りました。

全国で下水道の汚水処理場をもつてゐるところは東京、大阪、京都、名古屋、豊橋、岐阜の六都市だけです。

この下水道施設ができた都市の人々はほとんど早く施設されればよかったとみんながいつています。

この下水道事業は四ヶ年計画で工費二億円で着工いたしました。甲突川の河口の汚水処理場もほゞ使用されるころまで進んでおられますので、ことしの十月ごろには使用できる見込みです。

また下水道については給水人口が毎年一万五千名位の増加のためどうしても水不足をきたすので、ことしは新たに水源地を設けたい



図面の太い黒線は 下水管幹線

住宅の建築見込み

鹿兒島市内の住宅不足数は約一、六〇〇戸と推定されておられます。この住宅難は当分解消されようと思はれますが、今年度の市営住宅の建築計画をお知らせします。

宇宿町 鉄筋アパート二四戸
下伊敷町 プロック 二〇戸
木造 五戸
坂元町 引揚住宅木造五戸

この外政府に認認してもらつて申請中のものは約一〇〇戸あります。

工場新設をまつ南港

躍進する南方貿易の基地となる南鹿兒島港の工事もことしで四年目を迎えました。いすも同じの財政難でなかなか大変な事業であります。しかしながらすでに110,000平方メートルの埋立ができ、さらにことしは55,000平方メートルを埋立する予定です。

また今までの埋立地の一部には道路もできましたので工場誘致も活発に行われ近く煙突が何本か立ち煙をふく日も間近いこととあります。



「キリンはぜひ買いたい」 電車バスも新車を

わさび

昨年キリンの募金を県下各地から届いて全々感謝の外ありません。とまあおきながら次のように市交交通局長は新年の抱負を話しました。

まずことしは市議会とも相談しキリンをぜひ購入して募金をしていただいた人々のきもちにこたえたい。

電車についてはキリンの募金を(防音防塵装置で東京電車の七、〇〇〇型と同じ)三輛購入するとともに現在の市営バスは相当老朽車が多いので新しく一〇台位を購入して市民の足の緩和をはかり、また乗務員の研修をしてサービス改善につとめたい。

それに運動場関係としては今の補助グラウンド横の埋立地を軟式野

と、お客が乗れよと乗れよといふ、おかしな話、自分さ乗れたらそれでよいのだらう。

よほどのになると車掌が「乗れない人の気持になつておつめ下さい。」と顔色も動かないばかりか「満員だよ、あんまり詰めるな、からだが、パンクするぢやねえか」と、叱咤り返してゐる。詰めればまた四、五人は五分乗れる余裕があるのに。

鳥越トンネル

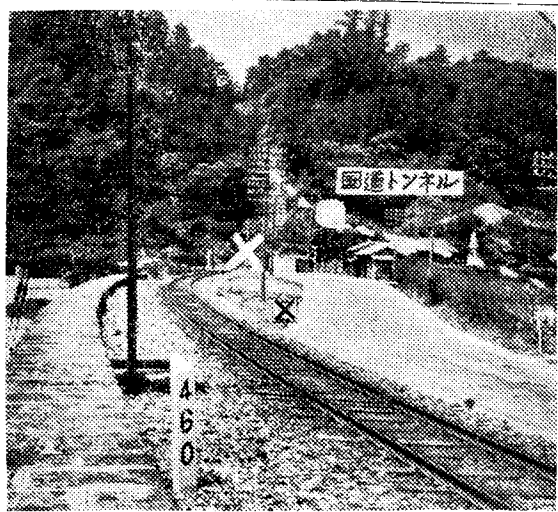
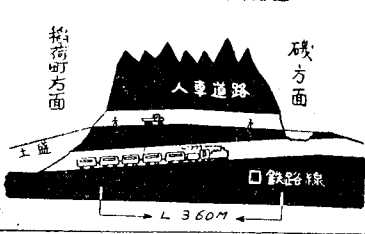
年内には着工

鳥越トンネルについてはかねてから政府にその実現を要望しておられますが、これについて緒方助役は次のように語りました。

市内でも最も交通量の多い横街道を少しでも緩和するため鳥越トンネルによる十号国道を一年から政府に要望いたし、昨年はずべて地質調査を行つておられますのでことしから道路整備事業(カソリ)税による分の五ヶ年計画の中にくみ入れられることになつておきます。

このトンネルは下図のような延長三六〇米、幅員九米、車道と歩道をわけてあるもので工費は約七、三〇〇万円です。

鳥越トンネル断面図



これが完成すれば吉野町方面の開発はもちろん、産業、交通、観光の面に著るしい発展をみることでしよう。

都市計画

町名の改正や清算金の支拂いなど

市内の戦災復興事業はその大部分が完了いたしておりますが、まだまだ今後に残された都市計画の問題はたくさんあります。そこで、物産部長にことしの復興事業についてたずねてみました。

戦後から長く続いた戦災復興事業もことしからは特別都市計画法にかつて、土地区画整理法

市内の戦災復興事業はその大部分が完了いたしておりますが、まだまだ今後に残された都市計画の問題はたくさんあります。そこで、物産部長にことしの復興事業についてたずねてみました。

戦後から長く続いた戦災復興事業もことしからは特別都市計画法にかつて、土地区画整理法

ビニール村の奨励

換金作物を重点に

都市近郊農村の生命であります。野菜は毎年生産が増加され、現在では昭和二十七年に比べて市場の出荷高は約七倍にも達しております。そのうち最も多いのはにんじん、ふかき、きゅうりです。

これらの換金作物については農林部長はことしの事を次のように語りました。

まずことしは換金作物の奨励に重点をおき特産地を十二カ所かすと共に、ほうれん草(二〇町)かんらん(七〇町)なす(二〇町)(こぼろ(一四町)をふやし、市場価格を維持するかわら売上一億円を目標に野菜の自給率を確立



また鹿兒島は地域的に暖いので暖地園芸の真価を發揮してビニール村の奨励を行つておられます。既にキウリ等は写真のように食膳にのぼるほどの成果をあげています。

ことしから文書は横書に

ことしから市役所であつかつてゐるすべての文書を横書きにすることになりました。これには今までの長い縦書きの習慣をかえるのですから大変な利点がたくさんあります。

①書きやすい 毛筆をつかつて腕を宙に浮かせて書くときは横に書くのも縦に書くのも書きやすさに大したちがいはありません。しかし現代の実務ではペンや鉛筆などをつかつて腕を宙に浮かせて書くのはできません。腕を架けて※ん能率的に考えられてゐる速記文字も横書きであります。

②数字やローマ字の書き方と一致する ③綴り込みを統一することができる ④書類をめぐりやすい ⑤書類を検出しやすい ⑥読みやすい こんな利点がたくさんあげられますので外の官公庁でもだんだん横書きにすようになっておられます。

水族館の計画

鹿兒島市の観光収入は年間一四億といわれ、なにもおとらない産業であります。そこで年々ふるさとの観光客のために水族館をつくる話がすすんでおきます。

これは鹿兒島観光協会が中心となつておられますが同協会はぜひ今年内に実現させたいと喜んでおられます。